

# 会 議 録

会議の名称	第1回小金井市公共下水道事業審議会	
事務局	環境部下水道課業務設備係	
開催日時	平成元年5月20日(月)午後2時～3時15分	
開催場所	小金井市前原暫定集会施設A会議室	
出席者	委員	浦谷 規、楠元 克成、貞包 秀浩、南 恵子、齋藤 徹子、 多田 典子、野崎 玲子
	事務局	下水道課長 本木 直明、工務維持係長 小林 君男 業務設備係主任 牛込 孝子
傍聴の可否	○可 ・ 一部不可 ・ 不可	
傍聴者数	0人	
傍聴不可等の理由等		
会議次第	別紙のとおり	
会議結果	別紙「審議経過」のとおり	
提出資料	第1回審議会資料	
その他	なし	

## 1. 平成31年度予算について

平成31年度予算について、下水道課長より審議会資料を用いて説明。質疑応答における内容は下記のとおり。

(貞包委員)

管きよの老朽化について、下水道を管理をしている現場の感じとして、早急に工事しなくてはいけないと感じているかどうか。

(事務局)

市で入れた管自体はそう悪くなっていないと思うが、本管から出ている取付管は陶管で、そちらについては劣化が見られる。

(貞包委員)

劣化しているという認識はどのようにしているか。

(事務局)

道路の陥没の理由の主なものが、管の劣化によるもの。陥没した部分にカメラを入れてみてもわからないが、実際に掘ってみると、漏れていたりしてわかることがある。

(浦谷委員長)

陶管以外の管を使う予定はあるのか。

(事務局)

今は、全部塩ビ管になっている。塩ビ管は接手から漏れない。ただ、取付管はストックマネジメント計画に入っていない。

(下水道課長)

ストックマネジメントには入っていないが、日常の維持管理の工事で対応していく。

(事務局)

ストックマネジメントは予防的に維持管理をするのが目的である。

(下水道課長)

2、3年前に道路管理課で道路の空洞化調査を行っている。そのデータを元に調査を行うと取付管に異常を発見することもある。

(貞包委員)

その結果は連絡がくるのか。

(事務局)

指示がくる。

(貞包委員)

マンホールトイレ、冬場プールに水は溜めているのか。

(事務局)

溜めている。プールが開始するまで溜めている。

(貞包委員)

下水道の剰余金はいずれなくなってしまうのか。

(下水道課長)

いずれはなくなってしまう。

(貞包委員)

剰余金があまり多くてもいけない。

(下水道課長)

ある程度貯まるのは仕方がない。将来管きよの更新のために貯めておくことも考えとしてある。

(貞包委員)

公企業だから、安全に管理をする上で、ある程度ストックは必要。

(楠元委員)

使う目処がないのに、剰余金があってもいけない。

(貞包委員)

そのため審議会がある。小金井市は下水道料金は安い。

(事務局)

いきなり使用料を値上げしないように、値上げ幅を抑制しなければいけない。下水道の更新費用は莫大な金額になるので、ストックマネジメントなどをしながらやっっていこうと思っている。

(貞包委員)

管を入れ替えるのと、中から工事をするのはどちらが安いのか。

(事務局)

管を更生したほうが安いといわれている。ただ、浅い場所や細い管もあるのでケースバイケースである。

(楠元委員)

予算の説明を受けたが、会計が変わるということで、例年とは違った予算になっているが、予算として足りているのか。

(下水道課長)

平成30年度の繰越と平成31年度の契約差金等があるので大丈夫である。

(浦谷会長)

公営企業、共同実施の7市はどこか。

(下水道課長)

八王子市、調布市、国立市、昭島市、東久留米市、狛江市、小金井市。どこの市も初めてやることなので、横の連携の効果があると思う。

(浦谷会長)

公営企業をやるのは下水道だけか。

(下水道課長)

病院や上水道。下水道は選択制だが、下水道事業は今後お金がかかるから、経営をしっかり把握しなければならないということで、国土交通省より来年4月までに人口3万人以上の市は導入するよう通知があった。

(浦谷会長)

2、その他なし。閉会とした。

閉会

\*各議題の会議録・資料については、図書館本館、議会図書館（小金井市役所本庁舎4階）、情報公開コーナー（小金井市役所第二庁舎6階）にて閲覧できます。